

黒石晋 教授

略歴と業績

略歴

黒石 晋(くろいし すすむ)

学歴

- 1977年(昭和52年) 3月 群馬県立高崎高等学校卒業
- 1982年(昭和57年) 3月 東京大学教養学部教養学科第三卒業
- 1985年(昭和60年) 3月 東京大学大学院社会学研究科
(国際関係論専門課程) 修士課程修了
・公文俊平に師事し「一般システム論・社会システム論」を学ぶ

職歴

- 1985年(昭和60年) 4月 (株)電通勤務(～1994年(平成6年)3月)
・この間、マーケティング局、(株)電通総研、総合計画室に在籍
- 1994年(平成6年) 4月 滋賀大学経済学部助教授
(※准教授制導入以前)(～2002年(平成14年)3月)
- 2002年(平成14年) 4月 滋賀大学経済学部教授

活動した学会

日本社会学会、数理社会学会、社会経済システム学会、
進化経済学会、情報社会学会

日本学術会議連携会員

(第21期：2008年10月～2011年9月 および第22期：2011年10月～2014年9月)

主な委員

- 2002年(平成14年) 4月 経済学部入試委員(※副学部長制導入以前)
(～2003年3月)
・入試改革、前期日程「総合問題」を廃止、三教科入試およびA方式・B方式を導入
- 2006年(平成18年) 4月 経済学部副学部長(学生・学務担当)
学務委員長(～2007年3月)
- 2011年(平成23年) 4月 施設マネジメント部会彦根地区分科会会長
(～2012年3月)
・総合研究棟(士魂商才館)建設に尽力
- 2015年(平成27年) 4月 学生委員長(～2016年3月)
- 2016年(平成28年) 4月 附属図書館副館長(～2017年3月)
- 2020年(令和2年) 4月 附属図書館副館長(～2022(令和4)年3月)



業績

単著書

『欲望するシステム』(ミネルヴァ書房/2009年)

『システム社会学』(ハーベスト社/1991年)

共編著書

『社会システム学をめざして』(今田高俊・鈴木正仁との共編著/ミネルヴァ書房/2011年)

『複雑系を考える—自己組織性とはなにかII』

(今田高俊・鈴木正仁との共編著/ミネルヴァ書房/2001年)

単著論文

「誘引力、反発力、均衡化力、そして強度—ドゥルーズ=ガタリの
「無器官体」上に展開する諸力をシステム学的かつ図式的に解釈する一つの試み」
(滋賀大学経済学部 Working Paper Series No. 278/2018年10月)

「[知性のヒト]か[欲望するヒト]か
—人類進化における欲望の役割—ヘンリー・W・サリヴァン論文をめぐる」
(滋賀大学経済学部 Working Paper Series No. 274/2017年12月)

「リゾーミック・システムの編制原理
—「欲望の社会システム学」のための欲望論用語集序説」
(『彦根論叢』(407)20-35/2016年3月)

「欲望：なにに、なぜ人間はこれほど駆り立てられるのか」
(橋本努編著『現代の経済思想』第2章/勁草書房/2014年)

「グローバル化社会の理論社会学」(宮島喬, 船橋晴俊, 友枝俊雄, 遠藤薫 編著
『グローバリゼーションと社会学』第13章/ミネルヴァ書房/2013年)

「欲望・貨幣・商品・商人—「欲望の社会システム学」のための欲望論用語集序説」
(『彦根論叢』(394)206-227/2012年12月)

「存在と認識の階層性；そのための理論枠—新しい「社会システム学」の
構想のために—」
(『彦根論叢』(377)111-130/2009年3月)

「[複雑適応系]としての社会理論に備わるべき形式について」
(『社会・経済システム』(17)21-26/1998年10月)

共著論文

「システム理論と秩序の形成」
(山内康英, 黒石晋/『理論と方法』2(1)29-44/1987年10月)